

日田市民文化会館では、日田の魅力を新たな視点からとらえ発信することを目的に、会館を飛び出してアウトリーチ公演を開催しています。

今年度は日本遺産「咸宜園」を会場とし、廣瀬淡窓が居た当時の風景を梅川壱ノ介が舞踊で表現します。

人をつなぎ、文化をつむぐ、咸く宜し2024

～梅川壱ノ介・舞踊×咸宜園～

《公演内容》

- ・口上
- ・廣瀬淡窓の詩に合わせた舞いや四季の素踊り
- ・映像ありのトーク

2024年12月7日(土)

①13:00～13:50

②15:30～16:10(休憩10分含む)

定員/各回50名

整理券はパトリア日田窓口にて10/12(土)14時より配布開始

会場

咸宜園

〒877-0012 日田市淡窓2丁目2-13

※少雨決行

※外での鑑賞となるため暖かい服装でお越しください

主催・お問合せ

日田市民文化会館「パトリア日田」☎0973-25-5000

入場
無料

要整理券



人をつなぎ、文化をつむぐ、咸く宜し2024

～梅川壱ノ介・舞踊×咸宜園～



出演 梅川壱ノ介

舞踊家

大分県日田市出身、新潟大学卒。

東京バレエ団、歌舞伎俳優を経て、2016年日本舞踊を基本とする舞踊家に転身する。師匠は人間国宝坂東玉三郎氏。日本の古くから伝わる古典作品はもとより、現代アートとの融合作品、オーケストラとの共演など、様々なコラボレーションを手掛けている。

また、現在、日本航空JAL全線で放映されている降機ビデオに出演中、夕日を背景に日本舞踊を披露している。

2023年には障がいのある子どもたちのスクールであるアヴニールスクールの理事長に就任。日本舞踊を通して、さまざまなジャンルとコラボレーションをし、新しい世界、可能性を切り拓いている。

水郷ひた観光親善大使。

会場 咸宜園

咸宜園は、江戸時代後期に生まれた儒学者・廣瀬淡窓(1782～1856)が文化14年(1817)、豊後・日田に開いた近世日本最大規模の私塾(学校)です。

「咸宜」とは、中国最古の詩集『詩経』にある「殷、命を受く咸宜、百禄是れ何う」から来ています。「咸く宜し」とは、すべてのことがよろしいという意味で、淡窓は門下生一人ひとりの意志や個性を尊重する教育理念を塾名に込めました。

淡窓は、身分や階級制度の厳しい時代にあって、入門時に学歴・年齢・身分を問わない「三奪法」により、すべての門下生を平等に教育しました。また、咸宜園には、月の初めに門下生の学力を客観的に評価する「月旦評」と呼ばれる制度があり、

門下生の成績を公表することで学習意欲を起こさせ、勉学に励ませる効果がありました。そのほかにも、規則正しい生活を実践させる「規約」や門下生に塾や寮を運営させる「職任」など、門下生の学力を引き上げ、社会性を身につけさせる教育が行われました。

咸宜園は、淡窓の没後も廣瀬旭荘や廣瀬青邨などの門下生に引き継がれ、明治30年(1897)に閉塾するまで、およそ5,000人もの門下生が学びました。



咸宜園駐車場の収容台数は5台です。近隣駐車場をご利用ください。

- 日田市宮三本松駐車場(徒歩約2分/有料)
- 市宮豆田西駐車場(徒歩約4分/無料)